

私とカメラとの出会いは高校を卒業し、就職した頃でした。東京へ旅立つ私に友人達が送別会を設けてくれ、高校時代ドライブや遊園地に行ったときに撮影した写真をアルバムに収めてあり、本土で寂しくなったときはよくこのアルバムを見たものです。

そのアルバムはちょうど前半のみ写真が貼られていて、残り後半はこれから色々思い出を作ってくれと空白になっていました。

当時カメラを持っていない私は使い捨てカメラを使用していましたがしばらくして初めて自分のカメラを購入しました。初めて買ったカメラはプラスチック製の安いカメラでしたが安いカメラを長いこと愛用していました。東京は1年半の短い間しか居ませんでしたがその間にアルバムが8冊出来るほど撮影していました。今でもアルバムをみるとあの頃の思い出と記憶がよみがえってきます。

それから十数年、時代はフィルムカメラからデジタルカメラに変わり、私もデジタルカメラを手に取り気軽に撮影を楽しむようになりました。デジタルカメラはフィルムを気にせず撮影できるので日常の何気ない風景を気軽に撮れます。今日食べた食事を撮影してみたり、街の面白い看板を見つけては撮影してみたりと結構面白いものです。

デジタルカメラの普及が進んだ今、最近ではデジタル一眼レフが人気のようです。最近子供の運動会に参加しましたがデジタル一眼レフでわが子を撮影している父母など多くみられるようになりました。

観光地でも同じようにデジタル一眼レフで撮影されている観光客も良く見かけます。ただ撮影風景を見ているとせっかく良いカメラで撮影しているのにちょっともったいないなと思うことが多々あります。

沖縄は青い空をイメージすると思いますが、意外に大きな雲が多く太陽を遮る時間が多いのです。せっかく本土から観光で沖縄まで訪れているのに太陽が隠れた瞬間にシャッターをきる方が結構多いのです。太陽が雲に隠れた瞬間に撮影した写真と太陽が出ている晴れ間に撮った写真とでは見比べるまでもなく太陽が出ているときに撮った写真の方が綺麗なのです。ほんの数十秒待つだけで一生残る記念写真の出来栄が変わるのですから撮影の再には風景以外に空の太陽のチェックも忘れないようにしたいものです。